

南 監 査 号
令和3年11月9日

南 幌 町 長 大 崎 貞 二 様
南幌町議会議長 側 瀬 敏 彦 様
株式会社 南幌振興公社
代表取締役社長 大 崎 貞 二 様

南幌町監査委員 白 倉 敏 美
南幌町監査委員 佐 藤 妙 子

令和3年度南幌町財政的援助団体等監査報告書

地方自治法（昭和22年法律第67号）第199条第7項の規定により実施した財政的援助団体等の監査結果に関する報告を同条第9項の規定により、次のとおり提出します。

記

1. 監査実施団体

株式会社 南幌振興公社

2. 監査実施期日

令和3年10月15日（1日間）

3. 財政的援助等内容

- イ. 株 式 28,900千円（出資比率29.8%）
- ロ. 損失補償 元金181,660千円及び利息の合計額を限度

4. 監査の目的と着眼点

財政的援助団体である株式会社南幌振興公社の令和2年度決算報告書、貸借対照表、損益計算書、契約書類等の重要書類を閲覧し、南幌町監査基準に基づき経営概況について書類監査と聞き取りを主に実施した。

また、令和3年9月末現在の経営成績、運営状況、集客状況の推移など、事業実績を基本に南幌リバーサイドゴルフ場の経営概況と収支見込についての聞き取りを主に確認を行うとともに財務諸表の検証を行っている。

5. 監査の場所

株式会社 南幌振興公社会議室

6. 監査の内容

① 令和2年度事業実績

営業日数は208日と前年度より△13日、5.9%少なく、5月4日から5月19日までの16日間の営業自粛期間があったことで、入場客数が大きく減少し、前年度を△1,592人、4.6%下回り、コース売上高も前年度に比べ△4,526千円、3.8%減少した。

【令和2年度コース売上高及び入場者数】

年 度 項 目		令和2年度	令和元年度	前 年 度 対 比	
				増 減	増減率
営 業 日 数		208 日	221 日	△13 日	△5.9%
西・南	売 上 高	99,546 千円	107,353 千円	△7,807 千円	△7.3%
	入 場 者 数	27,213 人	29,642 人	△2,429 人	△8.2%
	客 単 価	3,658 円	3,622 円	36 円	1.0%
北	売 上 高	15,481 千円	12,200 千円	3,281 千円	26.9%
	入 場 者 数	5,733 人	4,896 人	837 人	17.1%
	客 単 価	2,700 円	2,492 円	208 円	8.3%
合 計	売 上 高	115,027 千円	119,553 千円	△4,526 千円	△3.8%
	入 場 者 数	32,946 人	34,538 人	△1,592 人	△4.6%
	客 単 価	3,491 円	3,461 円	30 円	0.9%

※ 売上高に消費税及びゴルフ場利用税を含まない。

※ 入場者数に北コースの15歳未満の無料入場者を含む。(令和2年度：136名、元年度：119名)

② 令和2年度損益

練習場を含めた総売上高は129,373千円と予算比5,513千円、達成率104.5%、前年比△3,629千円、2.7%減少した。

練習場売上高は14,101千円と前年比937千円、7.1%増加した。

売上原価は93,633千円と、前年度比△7,038千円、7.0%減少した。売上高構成比は72.4%と前年度の75.7%を3.3%下回り、売上総利益は35,740千円と前年度比3,409千円、10.5%増加した。

販売及び一般管理費では、人件費が従業員数の増加及び退職金の支払いにより19,727千円と前年比5,304千円増加した。広告宣伝費ではWeb予約の導入に伴う送客手数料などで3,856千円、前年比1,169千円増加するなど販売管理費全体に費用が増えて29,563千円と前年比6,489千円、28.1%増加し、営業利益では6,177千円と前年比△3,080千円、33.3%下回った。

営業外利益では雑収入でコンペ中止に伴う参加料収入が減少したが、持続化給付金、雇用調整助成金の増加により3,994千円と前年比1,379千円、52.7%増加した。

以上の結果、売上原価が売上高に占める割合の減少を主たる要因として、経常利益（税引前当期純利益）は8,592千円と前年比△1,687千円、16.4%下回った。

【比較損益計算書】

（単位：千円）

科 目	令和2年度					令和元年度		増 減	
	予算額	売上比	決算額	売上比	達成率	金 額	売上比	増 減	増減率
売 上 高	123,860	100.0%	129,373	100.0%	104.5%	133,002	100.0%	△3,629	△2.7%
売 上 原 価	94,043	75.9%	93,633	72.4%	99.6%	100,671	75.7%	△7,038	△7.0%
仕 入 高	190	0.2%	186	0.1%	97.9%	223	0.2%	△37	△16.6%
労 務 費	51,827	41.8%	49,298	38.1%	95.1%	50,505	38.0%	△1,207	△2.4%
消 耗 品 費	3,500	2.8%	4,911	3.8%	140.3%	4,073	3.1%	838	20.6%
修 繕 費	7,000	5.7%	5,768	4.5%	82.4%	8,178	6.1%	△2,410	△29.5%
種 子 農 薬 費	7,700	6.2%	6,689	5.2%	86.9%	7,616	5.7%	△927	△12.2%
広 告 宣 伝 費	2,000	1.6%	1,619	1.3%	81.0%	2,181	1.6%	△562	△25.8%
減 価 償 却 費	6,710	5.4%	7,300	5.6%	108.8%	7,227	5.4%	73	1.0%
そ の 他 費 用	15,116	12.2%	17,862	13.8%	118.2%	20,668	15.5%	△2,806	△13.6%
売 上 総 利 益	29,817	24.1%	35,740	27.6%	119.9%	32,331	24.3%	3,409	10.5%
販 売 ・ 管 理 費	25,290	20.4%	29,563	22.9%	116.9%	23,074	17.3%	6,489	28.1%
人 件 費	19,600	15.8%	19,727	15.2%	100.6%	14,423	10.8%	5,304	36.8%
広 告 宣 伝 費	3,976	3.2%	3,856	3.0%	133.1%	2,687	2.0%	1,169	43.5%
保 険 料	216	0.2%	2,617	2.0%	1211.6%	2,617	2.0%	0	0.0%
そ の 他 費 用	1,498	1.2%	3,363	2.6%	128.8%	3,347	2.5%	16	0.5%
営 業 利 益	4,527	3.7%	6,177	4.8%	136.4%	9,257	7.0%	△3,080	△33.3%
営 業 外 利 益	7,204	5.8%	3,994	3.1%	55.4%	2,615	2.0%	1,379	52.7%
営 業 外 費 用	1,618	1.3%	1,579	1.2%	97.6%	1,593	1.2%	△14	△0.9%
経 常 利 益	10,113	8.2%	8,592	6.6%	85.0%	10,279	7.7%	△1,687	△16.4%

（注） ※ 売上原価の労務費に高齢者事業団からの人員派遣委託費を含む。

③ 令和2年度末財務の状況について

令和2年度末の財務規模は736,753千円と前年比△536千円、0.1%減少した。

1. 資産の部

流動資産は、現金・預金が6,068千円増加し、固定資産では、有形固定資産と投資その他資産が減少し△6,736千円減少した。

【資産の部】

(単位：千円)

年 度 科 目		令和2年度末		令和元年度末		増 減	
		金 額	構成比	金 額	構成比	金 額	増減率
流動資産	現 金 ・ 預 金	31,386	4.3%	25,318	3.4%	6,068	24.0%
	そ の 他	1,294	0.2%	1,162	0.2%	132	11.4%
	流動資産計	32,680	4.4%	26,480	3.6%	6,200	23.4%
固定資産	有 形 固 定 資 産	98,728	13.4%	101,295	13.7%	△2,567	△2.5%
	無 形 固 定 資 産	17,697	2.4%	17,697	2.4%	0	0.0%
	コ ー ス 勘 定	574,110	77.9%	574,110	77.9%	0	0.0%
	投資その他資産	13,538	1.8%	17,707	2.4%	△4,169	△23.5%
	固定資産計	704,073	95.6%	710,809	96.4%	△6,736	△0.9%
資産合計		736,753	100.0%	737,289	100.0%	△536	△0.1%

2. 負債・純資産の部

負債及び純資産は、流動負債で法人税等充当金が前年比△2,012千円減少したが、未払消費税及び未払金等が前年比で増加した。

固定負債では、長期借入金△6,500千円を償還した。また、固定資産の取得に伴う長期未払金も前年比△2,060千円減少した。

純資産では、税引後の当期純利益 6,570千円が増加した。

【負債・純資産の部】

(単位：千円)

科 目			令和2年度末		令和元年度末		増 減		
			金 額	構成比	金 額	構成比	金 額	増減率	
負 債 の 部	流動負債	法 人 税 等 充 当 金	615	0.0%	2,627	0.4%	△2,012	△76.6%	
		未 払 消 費 税	3,736	0.5%	1,000	0.1%	2,736	273.6%	
		そ の 他 流 動 負 債	1,860	0.3%	1,130	0.2%	730	64.6%	
		流動負債計	6,211	0.8%	4,757	0.6%	1,454	30.6%	
	固定負債	長 期 借 入 金	136,160	18.5%	142,660	19.3%	△6,500	△4.6%	
		長 期 未 払 金	8,065	1.1%	10,125	1.4%	△2,060	△20.3%	
		固定負債計	144,225	19.6%	152,785	20.7%	△8,560	△5.6%	
	負 債 合 計		150,436	20.4%	157,542	21.4%	△7,106	△4.5%	
純 資 産 の 部	株主資本	資本金		97,100	13.2%	97,100	13.2%	0	0.0%
		利益剰余金	利 益 準 備 金	24,275	3.3%	24,275	3.3%	0	0.0%
			別 途 積 立 金	348,000	47.2%	348,000	47.2%	0	0.0%
			繰越利益剰余金	116,942	15.9%	110,372	15.0%	6,570	6.0%
			小 計	489,217	66.4%	482,647	65.5%	6,570	1.4%
	純 資 産 合 計		586,317	79.6%	579,747	78.6%	6,570	1.1%	
負 債 合 計		736,753	100.0%	737,289	100.0%	△536	△0.1%		

④ 令和3年9月末実績と経営概況について

令和3年9月末の営業実績は、練習場4月3日、西南コース4月7日、北コース4月10日に営業を開始し、4月の入場者数は3,590人と計画比128.2%、前年比135.5%、5月の入場者数は5,414人と計画比110.5%、前年はコロナ禍による営業自粛の影響もあったことから、前年比258.4%と大幅増となった。

6月以降も順調に推移し各月とも計画比、前年比ともに上回った。昨年同様、3密回避のためクラブ主催のコンペを自粛したが、9月末累計で33,366人と当月末計画の27,400人に対し達成率121.8%、前年同期比6,598人、24.6%の増加となっている。

入場者数に占めるWeb予約の割合が9月末現在で36.9%と前年度通期の29.8%を大きく上回り集客効果を挙げている。

練習場の売上は、9月末現在で12,536千円と前年同期の11,535千円を1,001千円上回った。

西・南コースの営業日数は、172日と前年コロナ禍に伴う営業自粛での162日に比べ10日、北コースは123日と前年同期の113日に比べ10日多くなっている。

9月末のコース売上高は112,076千円と前年同期の91,792千円を20,284千円、22.1%上回っている。入場者数も33,366人と前年同期の26,768人を6,598人、24.6%上回る結果となっている。

【令和3年9月末コース売上高及び入場者数】

項 目		単位	令和3年9月末			前 年 同 期	前年同期対比	
			計 画	実 績	達成率		増 減	増減率
西・南	売 上 高	千円	82,190	96,261	117.1%	79,470	16,791	21.1%
	入 場 者 数	人	23,550	27,566	117.1%	22,199	5,367	24.2%
	客 単 価	円	3,490	3,492	100.1%	3,580	△88	△2.5%
北	売 上 高	千円	13,436	15,815	117.7%	12,322	3,493	28.3%
	入 場 者 数	人	3,850	5,800	150.6%	4,569	1,231	26.9%
	客 単 価	円	3,490	2,727	78.1%	2,697	30	1.1%
合 計	売 上 高	千円	95,626	112,076	117.2%	91,792	20,284	22.1%
	入 場 者 数	人	27,400	33,366	121.8%	26,768	6,598	24.6%
	客 単 価	円	3,490	3,359	96.2%	3,429	△70	△2.0%

※ 売上高に消費税、ゴルフ場利用税は含まない。

※ 北コースの15歳未満の無料入場者を含む。（令和3年度：103名、令和2年度：107名）

7. 監査のまとめ

令和2年度は令和元年度に比べ、コロナ禍での緊急事態宣言による営業自粛や外出などの行動制限により売上高が前年比△3,629千円、2.7%減少するかたちとなった。

令和3年度は集客面でWeb予約が全体の36.9%と前年より大幅な増加となり固定客に結びついてきていると感じられる。コロナ禍の中、感染リスクの少ないスポーツとしてゴルフが見直され、新たに始める人が増えたこと、また、1人予約の導入も集客アップの要因と思われる。

6月下旬から8月上旬までの期間雨量が4.6mmと少なく、連日の高温も重なり開業以来、一番の干ばつとなり、コースコンディションの著しい低下が長期間続いたが、8月中旬以降の降雨により9月下旬には本来のきれいな芝生に回復したことも確認した。

南幌リバーサイドゴルフ場は、南幌温泉と並ぶ本町における2大集客施設であり、ゴルフを身近なものとして、気軽に楽しめるスポーツというイメージを幅広く浸透させていると思われる。

今後は、経年により老朽化したクラブハウスの改修や施設管理機械の更新を視野に入れ、長く親しまれるゴルフ場として、更なる集客に努められたい。

令和3年度9月末実績に見る売上高及び入場者数は、これまで南幌リバーサイドゴルフ場がゴルフ人口の裾野を広げる役割を担い、地道に顧客を獲得してきた成果の現れであると言えるとともに、このようなコロナ禍において、本町に初の女子プロゴルファーが誕生したことも、非常に意義深く、若年層のゴルフ人口の拡大にもつながる端緒となることを望む。

引き続き、ゴルフ場の魅力づくりに努めていることを確認し、特筆すべき事項はない。